第１０章　高齢者福祉

１　老人ホーム定員の推移（表１、図１）【統計編　14－第３表】

令和５年度末の老人ホームの定員総数は 15,773 人で、前年より 260 人増加した。
内訳をみると、特別養護老人ホームが 12,848 人で、総数に占める割合は 81.7％であった。
また、軽費老人ホームは 1,886 人で、近年は横這いの状態である。

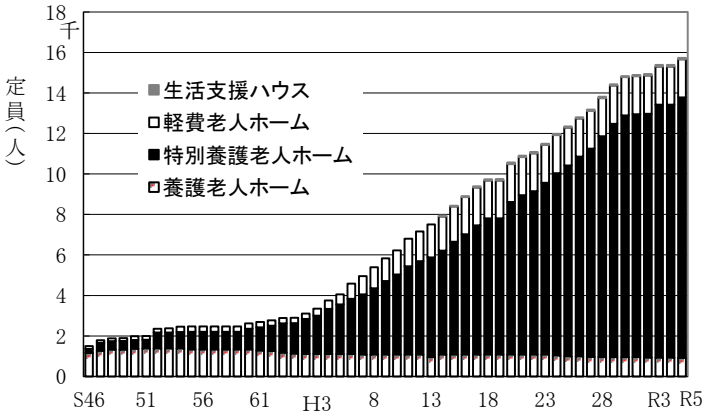
表１　老人ホーム定員の推移

（各年度末現在）

年次	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	生活支援ハウス	合計
昭和50	1,372	430	185	・	1,987
55	1,340	863	270	・	2,473
60	1,340	1,013	270	・	2,623
平成 2	1,120	1,717	270	・	3,107
7	1,080	2,977	900	・	4,957
12	1,080	4,617	1,461	・	7,158
17	1,080	6,377	1,876	59	9,392
22	1,080	8,062	1,876	74	11,092
27	970	10,274	1,866	66	13,176
28	960	10,898	1,886	66	13,810
29	960	11,516	1,886	66	14,428
30	960	11,932	1,886	56	14,834
令和元	960	11,987	1,886	56	14,889
2	930	12,044	1,886	74	14,934
3	930	12,493	1,886	74	15,383
4	930	12,583	1,886	74	15,473
5	925	12,848	1,886	74	15,733

【出典】福祉行政報告例

図１　老人ホーム定員の推移



【出典】福祉行政報告例

２　後期高齢者医療費の推移（表２、図２）【統計編　10－第３表】

県内の後期高齢者医療対象者数は、平成 14 年度をピークに減少傾向にあったが、平成 21 年度から上昇に転じ、令和４年度の月平均対象者数は、305,717 人である。

１人当たりの１ヶ月平均医療費は、72,839 円となっており、前年度に比べ 1,281 円増加した。

後期高齢者医療費の総額は、平成 11 年度まで増加傾向にあり、その後平成 20 年度まではほぼ横這いで推移していたが、平成 21 年度以降は増加傾向となっている。

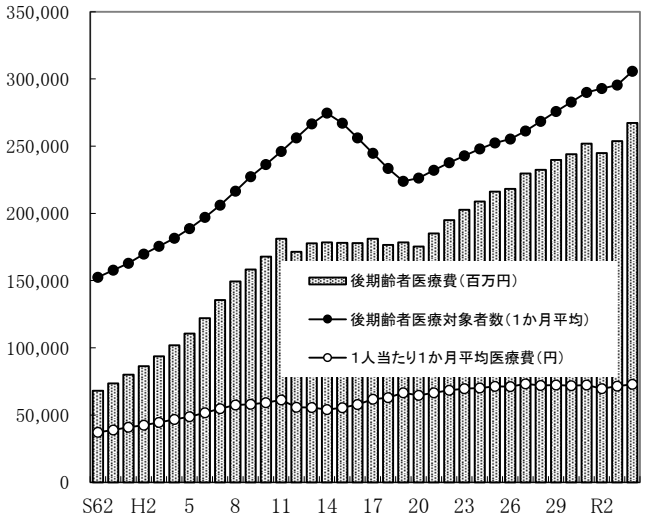
表２　後期高齢者医療費の推移

（各年度）

年次	後期高齢者医療対象者数（1か月平均）	1人当たり1か月平均医療費（円）	後期高齢者医療費（百万円）
昭和62	152,509	37,209	68,096
平成 2	169,669	42,433	86,395
7	206,061	54,793	135,487
12	256,117	55,759	171,366
17	244,647	61,707	181,158
22	237,655	68,405	195,089
27	261,279	73,282	229,766
28	268,518	72,108	232,347
29	275,880	72,442	239,825
30	282,874	71,889	244,026
令和元	290,002	72,400	251,953
2	292,854	69,689	244,903
3	295,530	71,558	253,770
4	305,717	72,839	267,219

【出典】後期高齢者医療事業状況報告

図２　後期高齢者医療費の推移



【出典】後期高齢者医療事業状況報告

注：表２・図２ともに平成 20 年度の後期高齢者医療制度の発足に伴い、平成 19 年度以前は老人医療制度、平成 19 年度以降は後期高齢者医療制度、平成 20 年度は２つの制度の合算である。